SHARP

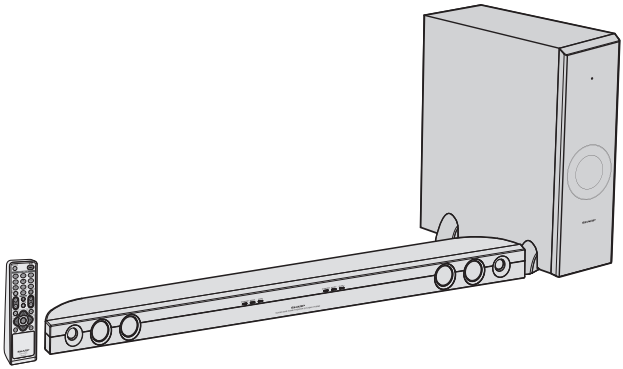
取扱説明書

シアターバーシステム

エイチティー　エス ビー

形名 **HT-SB60**

はじめに
設置・接続・準備
音を楽しむ
困ったときは
情報ページ



HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　DOLBY DIGITAL　dts Digital Surround　es plus 3D SOUND SOLUTION

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全上のご注意」（→ **3** ページ）、「電波に関するご注意」（→ **8** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書および別冊のクイックガイドは、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

重要
安心してご使用いただくために、落下防止策の実施をお願いします。（**19** ページ）

もくじ

はじめに ..... 初めて使うときは必ずお読みください。

安全上のご注意 ..... 3 ～ 8
電波に関するご注意 ..... 8 ～ 9
ご使用上の注意 10
お手入れのしかた 10
付属品 11
商標などについて 12
各部のなまえとはたらき ..... 13 ～ 15

設置・接続・準備 ..... 操作を始める前に必要な内容です。

設置する前に 16
サブウーハー部を設置する 16
フロントスピーカー部を設置する ..... 17 ～ 19
テレビやレコーダーなどを接続する ..... 20 ～ 22
電源を接続する 23
リモコンに乾電池を入れる 24

音を楽しむ ..... 基本的な再生操作と音の調整です。

電源／音量や音質の調整など ..... 24 ～ 29

困ったときは ..... 本機を使用していて困ったときに調べていただくページです。

「故障かな？」と思ったら ..... 30 ～ 31
エラーメッセージについて 32
異常が起きたら 32

情報ページ ..... 仕様などの情報のページです。

保証とアフターサービス 33
お客様ご相談窓口のご案内 34
おもな仕様 35
お問い合わせ先 ..... 裏表紙

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

警告

100ボルト以外禁止

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

- 火災・感電の原因となります。

禁止

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

確実に差し込む

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

安全上のご注意（つづき）

禁止

タコ足配線をしない
- 火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を載せたり、この製品の下敷きにしない
- 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷ついたときは、販売店に交換をご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、製品に触れない
- 感電の原因となります。

禁止

開口部（バスレフダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない
- 火災・感電・けがの原因となります。特にお子様にはご注意ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂やシャワー室では使用しない
- 火災・感電の原因となります。

分解禁止

キャビネットを開けたり、改造しない
- 火災・感電・けがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

水ぬれ禁止

本機の上に花びんなど、水の入った容器を置かない
- 水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

内部に水や異物などが入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

電源プラグを抜く

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜く
- 異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

⚠注意

禁止

不安定な場所に置かない
・落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない
・露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるようなところに置かない
・調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・事故の原因となることがあります。

禁止

水滴がかかる場所に置かない
・内部に水滴が入り、漏電・焼損の原因となることがあります。

禁止

風通しの悪いところで使用しない
また、じゅうたんや布団などをかけない
・放熱孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

禁止

製品の上に乗らない
・踏み台や腰かけのかわりに使わないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
特にお子様やペットにはご注意ください。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない
・電源コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない
・火災・事故の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

音量を下げる

大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください

・そのまま使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
本機で音声を楽しむときは、音量を最小にしてから最適な音量に調整してください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

・感電やけがの原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

・火災・感電の原因となることがあります。

指定のケーブルを使用

他の機器を接続するときは、指定のケーブルをお使いください

・接続するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、他の機器の取扱説明書をよくご覧のうえ、説明に従って接続してください。
また、付属のケーブルや指定以外のケーブルを使用すると、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

移動するときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続ケーブル、転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください

・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
また、落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

禁止

心臓ペースメーカーをお使いの方は、使用しないでください

・ペースメーカーに影響を与える可能性があります。

禁止

病院などの医療機関、医療機器の近くでは使用しないでください

リモコンの乾電池についての安全上のご注意

・液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠注意

禁止

乾電池は幼児の手の届く所に置かない

・乾電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。
飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

乾電池の液がもれたときは素手で触らない

・乾電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

表示どおりに入れる

乾電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

・間違えると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

乾電池は火や水の中に投入したり加熱・分解・改造・ショートしない
また、乾電池は充電しない

・乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

指定以外の乾電池を使わない

・乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指示

乾電池を使いきったときや、長時間使わないときは、乾電池を取り出す

・乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

禁止

乾電池を水に濡らさない
ハンダ付けしない
金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談センターまで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電波に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しています。この周波数の電波は、次に示すようにいろいろな機器が使用しています。

- コードレスフォン
- コードレスファクシミリ
- 電子レンジ
- 無線 LAN 機器（IEEE802.11b/g/n）
- Bluetooth
- ワイヤレス AV 機器
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- マイクロ波治療機器類

これらの機器と本機を同時に使用すると、電波の干渉により、音がとぎれて雑音のように聞こえたり、音が出なくなったりすることがあります。

受信状況の改善方法としては次の方法があります。

- 電波を発生している相手機器の電源を切る
- 干渉している機器との距離を離して設置する

本機のカバーをはずしたり、改造したりしないでください。

電波に関するご注意（つづき）

■ 機器認定について

本機は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、次の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

・分解／改造すること
・本機内蔵の無線モジュールに貼り付けてある証明ラベルをはがすこと

本機のカバーをはずしたり、改造したりしないでください。

■ 電波到達範囲

電波が届く範囲は約 10m です。ただし、設置位置やお使いになる場所の状況により狭くなる場合があります。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要さない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに電波の発射を停止したうえ、お問い合わせ先（裏表紙参照）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先（裏表紙参照）へご連絡ください。

■ 周波数について

・本機が使用する周波数帯は以下の通りです。

周波数表示の見かた

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を示す
「XX」：変調方式「その他の方式」を示す
「2」　：想定干渉距離が 20m以下であること
「---」：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

ご使用上の注意

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。
- 本機は、5℃～ 35℃の場所でお使いください。
- 使用中は、内部から発生する熱により、本機背面のアンプ部が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。
- パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器や本機に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、本機との距離をできるだけ離してください。
- 本機の近くでラジオ受信機やトランシーバー、防災無線機などの無線機器を使用すると、それらの機器や本機に雑音が入ることがあります。また、誤動作することがあります。そのときは、本機との距離をできるだけ離してください。
- 本機のスピーカーは防磁対応ではありません。磁気カードなど磁気の影響を受けやすいものをスピーカーの近くに置かないでください。
- スピーカーの設置について
  スピーカーを設置したとき、使うテレビ（ブラウン管）によっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

  テレビ画面に色ムラがおきたら…
  いったんテレビの電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。

  それでも色ムラが残るときは…
  テレビの位置を少し変えてみてください。
  近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビ画面に色ムラが生じることがありますので、設置にご注意ください。

お知らせ

- 色ムラが消えない場合は、テレビの点検が必要な場合もあります。

お手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽くふき取ってください。化学雑布（シートタイプのウェット・ドライのものも含め）をご使用になられますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭き取り、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。

付属品

リモコン

リモコン本体× 1　単 3 乾電池× 1

接続用部品

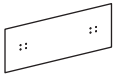
HDMI
ケーブル× 1

アナログ
音声ケーブル× 1

フロントスピーカー部設置用部品

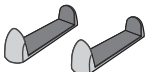
壁掛け用取付金具× 2

型紙× 1
（壁掛け用取付金具取り付け時に使用）



サブウーハー部設置用部品

サブウーハー用スタンド× 2



取扱説明書※（本書）× 1
保証書　× 1
クイックガイド　× 1

※日本語以外の取扱説明書はございません。

商標などについて

HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ダブル D 記号および AAC ロゴは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS のライセンス契約に基づき、製造されています。
以下が米国パテントナンバーです。
5,956,674　5,974,380　6,487,535
その他の米国内、その他の国におけるライセンス（出願中含む）
DTS およびシンボルは登録商標です。
DTS Digital Surround および DTS ロゴは、DTS, Inc. の商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

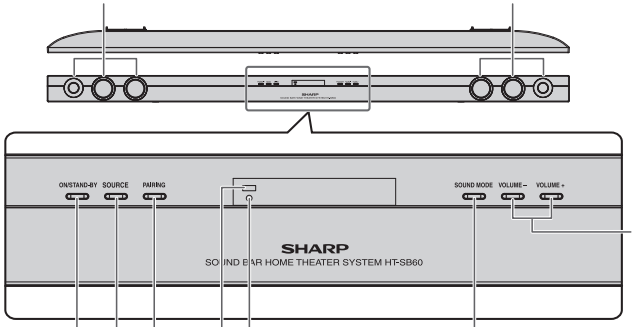
各部のなまえとはたらき

フロントスピーカー部

■ 正面

フロントスピーカー（左）
・左チャンネルの音が出ます。

フロントスピーカー（右）
・右チャンネルの音が出ます。



VOLUME（音量）－／＋ボタン
・音量を調整するときに押します。

ON/STAND-BY（電源）ボタン
・電源を入／切（待機）します。

STAND-BYインジケーター
・電源切時に点灯します。

SOUND MODE（サウンドモード）ボタン
・サウンドモードを切り換えるときに押します。

リモコン受信部
・リモコンをここに向けて操作してください。

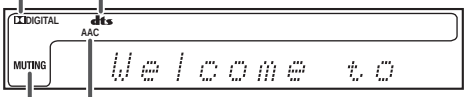
PAIRING（ペアリング）ボタン

SOURCE（入力切換）ボタン
・聞きたい機器の入力を切り換えるときに押します。

■ 表示部

ドルビーデジタルインジケーター
・ドルビーデジタル方式の信号が入力されると点灯します。

DTSインジケーター
・DTS方式の信号が入力されると点灯します。

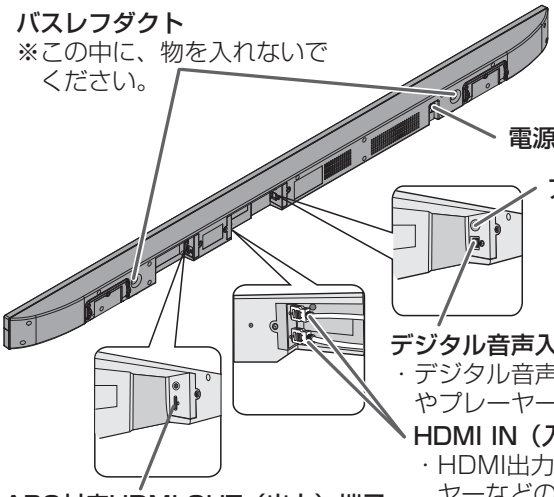


AACインジケーター
・AACの信号が入力されると点灯します。

消音インジケーター
・消音ボタンを押すと点灯し、しばらくすると点滅します。

フロントスピーカー部（つづき）

■背面



バスレフダクト
※この中に、物を入れないでください。

電源コード

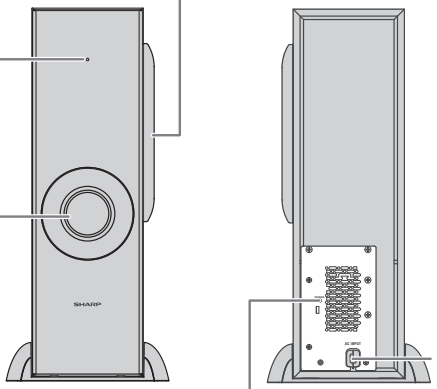
アナログ音声入力端子
・アナログ音声出力端子のあるレコーダーやプレーヤーなどの機器と接続します。

デジタル音声入力（光）端子
・デジタル音声出力（光）端子のあるレコーダーやプレーヤーなどの機器と接続します。

HDMI IN（入力）1・2端子
・HDMI出力端子のあるレコーダーやプレーヤーなどの機器と接続します。

ARC対応HDMI OUT（出力）端子
・HDMI入力端子のあるテレビと接続します。

サブウーハー部



サブウーハー
・重低音を再生します。

電源／ペアリングランプ

バスレフダクト
※この中に、物を入れないでください。

電源コード

PAIRING（ペアリング）ボタン

リモコン部

リモコン送信部

音声切換ボタン
・二重音声番組の音声信号（主音声／副音声）を切り換えるときに押します。

サウンドモードボタン
・サウンドモードを切り換えるときに押します。

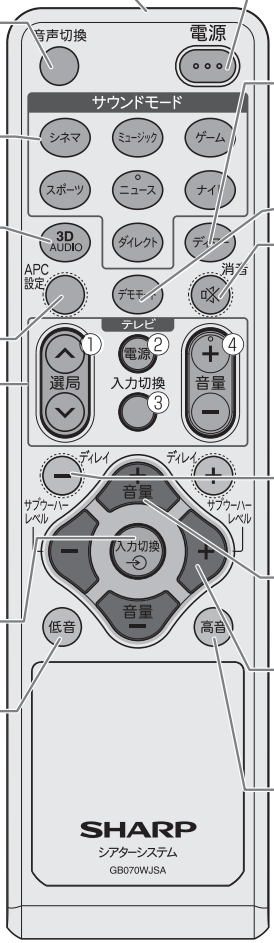
3D AUDIOボタン
・3Dサウンドモードを切り換えるときに押します。

APC（オートパワーオフコントロール）設定ボタン

テレビ操作ボタン
・SHARP製テレビのみ対応しています。（一部、対応していない製品もあります。）
①選局上／下ボタン
②電源ボタン
③入力切換ボタン
④音量＋／－ボタン

入力切換ボタン
・聞きたい機器の入力を切り換えるときに押します。

低音ボタン



電源ボタン
・電源を入／切（待機）します。

ディマー（調光）ボタン
・表示部の明るさを切り換えるときに押します。（3段階）

デモモードボタン

消音／スピーカー出力選択ボタン
・音を一時的に消すときに押します。
・長押しすると、本機／テレビのどちらから音声出力するか切り換えることができます。

ディレイー／＋ボタン
・映像と音声のズレを軽減したいときに押します。

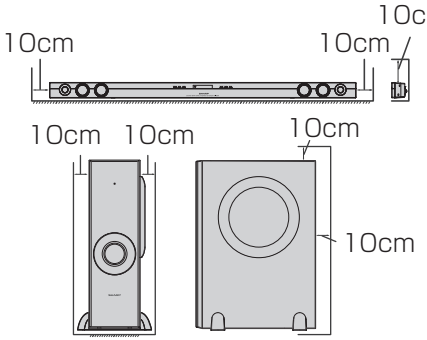
音量＋／－ボタン
・音量を調整するときに押します。

サブウーハーレベルー／＋ボタン
・サブウーハーレベルの調整をするときに押します。

高音ボタン

設置する前に

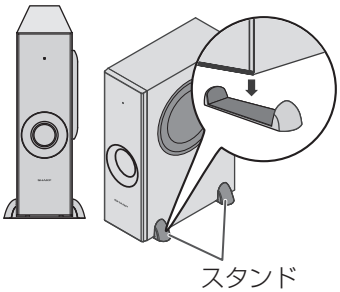
- 設置するときは、フロントスピーカー部の左右･天面に 10cm 以上、サブウーハー部の左右・天面・背面に 10cm 以上のすきまをあけてください。



- 家庭用電源コンセント（AC100V、50/60Hz）の近くに設置し、手で電源プラグが容易に抜き差しできるようにしてください。
- 本機はフロントスピーカー部とサブウーハー部をワイヤレスで接続します。接続可能距離は約 10m ですが、鉄筋コンクリートや金属製の壁などが間にあると、機能しない場合があります。そのような場合は、設置場所を変えてください。
- 電源を入れたまま移動したり、向きを変えたりしないでください。
- テレビやレコーダーなどを設置したり、接続したりするときの作業スペースを確保のうえ、本機を設置してください。

サブウーハー部を設置する

図のようにサブウーハー用スタンドを取り付けてから、お好みの場所に置いてください。



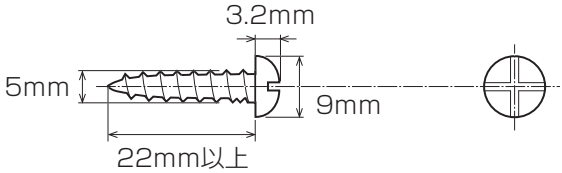
フロントスピーカー部を設置する

⚠注意

- 取り付け時にフロントスピーカー部を落とさないようご注意ください。
- 取り付ける前に、壁の材質や強度をお確かめください。（薄い石膏ボードや白壁の場合は、フロントスピーカー部を支えることができず落下するおそれがあります。）不明な場合は、販売店や工事店にご相談ください。
- ネジはしっかり取り付けてください。
- 取り付けの不備などによる事故につきましては、当社は一切責任を負いません。
- お子様がフロントスピーカー部にぶらさがったりすると、フロントスピーカー部が外れてけがをするおそれがあります。

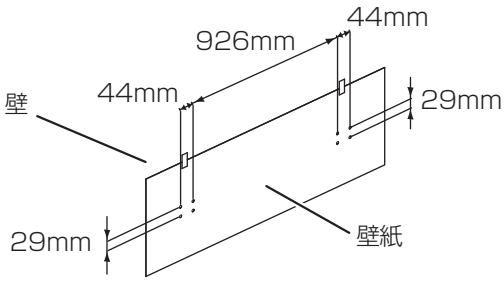
■ 市販のネジを用意する

図のようなネジと、対応する壁掛け用アンカーを 4 本ずつ用意してください。

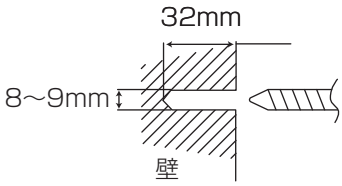


■ 壁掛け用取付金具を取り付ける

1. 付属の型紙を、壁に水平に貼りつける



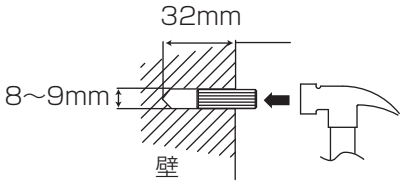
2. ドリルを使って、型紙に示された位置に穴をあける



フロントスピーカー部を設置する（つづき）

3. かなづちを使って、市販の壁掛け用アンカーを穴に打ち込む

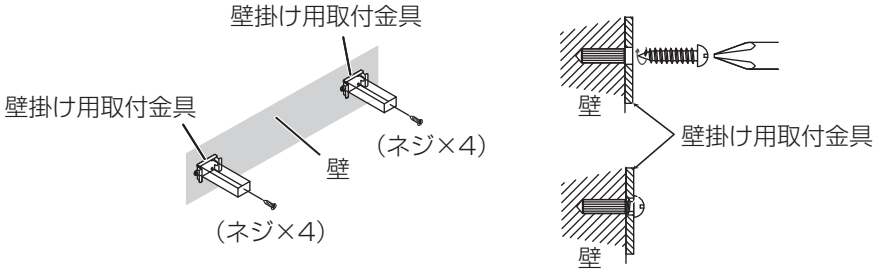
・ アンカーの表面と壁面が平らになるまで、しっかり打ち込んでください。



ご注意

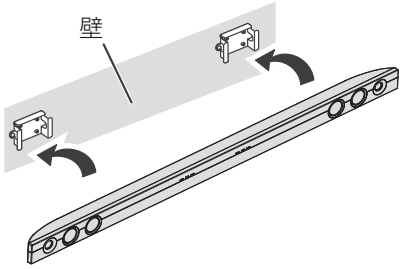
・ アンカーを穴に打ち込む際、壁や手をたたかないようにご注意ください。

4. 8本のネジを使って、壁掛け用取付金具を壁に取り付ける



■ フロントスピーカー部を取り付ける

フロントスピーカー部背面にある壁掛け用取付穴を、壁掛け用取付金具に合わせて差し込み、しっかりと固定してください。



⚠注意

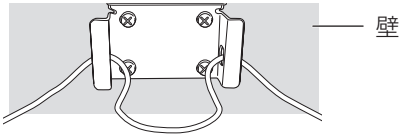
・取り付けた後、フロントスピーカー部に手を掛けたり小さなお子様がぶらさがったりしないようにご注意ください。フロントスピーカー部が落下し、故障したり、けがの原因となる場合があります。

■落下防止について

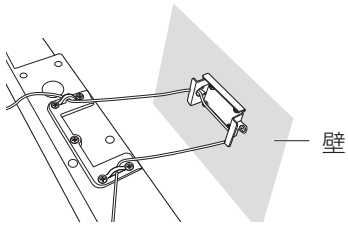
⚠注意 ・落下防止の作業は、２人で行ってください。

フロントスピーカー部背面にある突起に、市販の丈夫なひもなどを通して、壁掛け用取付金具とつないでください。脱落して床にあたり傷つくことなどを防止できます。

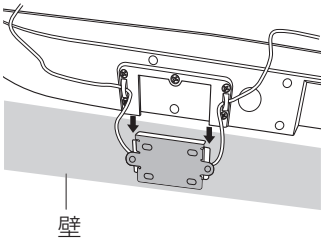
1. 壁に設置した壁掛け用取付金具の穴にひもを通す



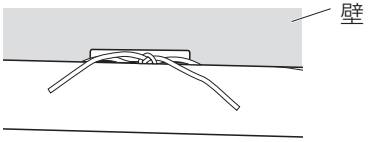
2. フロントスピーカー部背面突起部の穴に、内側からひもを通す



3. フロントスピーカー部を壁掛け用取付金具に合わせて差し込み、しっかりと固定する。



4. ひもをしっかりと結ぶ



お知らせ

・テレビ台などの上にフロントスピーカー部を置いたときは、テレビのスタンドなどに、市販の丈夫なひもでしっかりと固定してください。

テレビやレコーダーなどを接続する

接続する前に

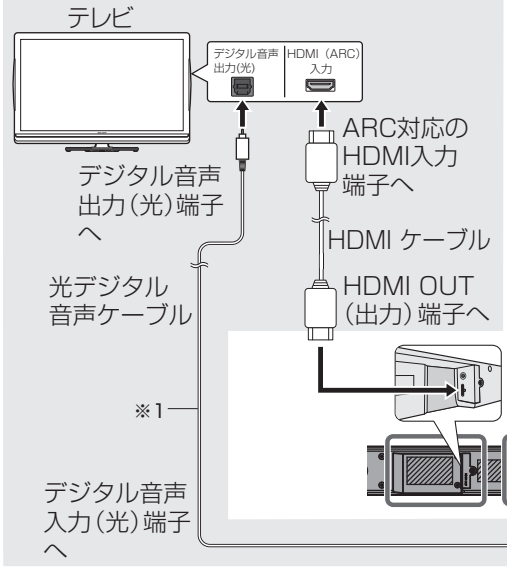
- **接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。**
- ご使用の機器の取扱説明書もよくご覧のうえ、接続してください。

HDMI 端子のある機器（テレビやレコーダーなど）を接続する

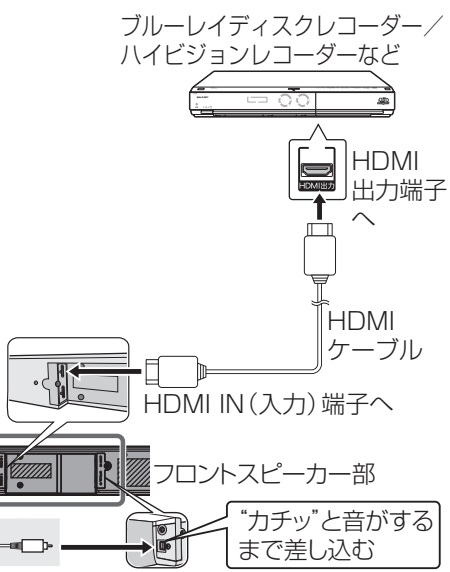
お知らせ

- アクオスと接続した場合、アクオス側の設定を「AQUOS オーディオで聞く」に設定すると、本機から音声が出力されます。「AQUOS で聞く」に設定したときは、本機から音声は出力されません。アクオスから音声が出力されます。
- ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）対応のテレビやブルーレイディスクレコーダーなどを接続した場合は、ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）が使用できます。ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）に関しては、接続する機器の説明書をご覧ください。
- 本機以外のファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）に対応したオーディオ製品を、本機やテレビに接続しないでください。正常な動作ができなくなります。
- ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）に対応した機器で正常に動作しないときは、本機のリモコンで操作してください。

テレビとの接続



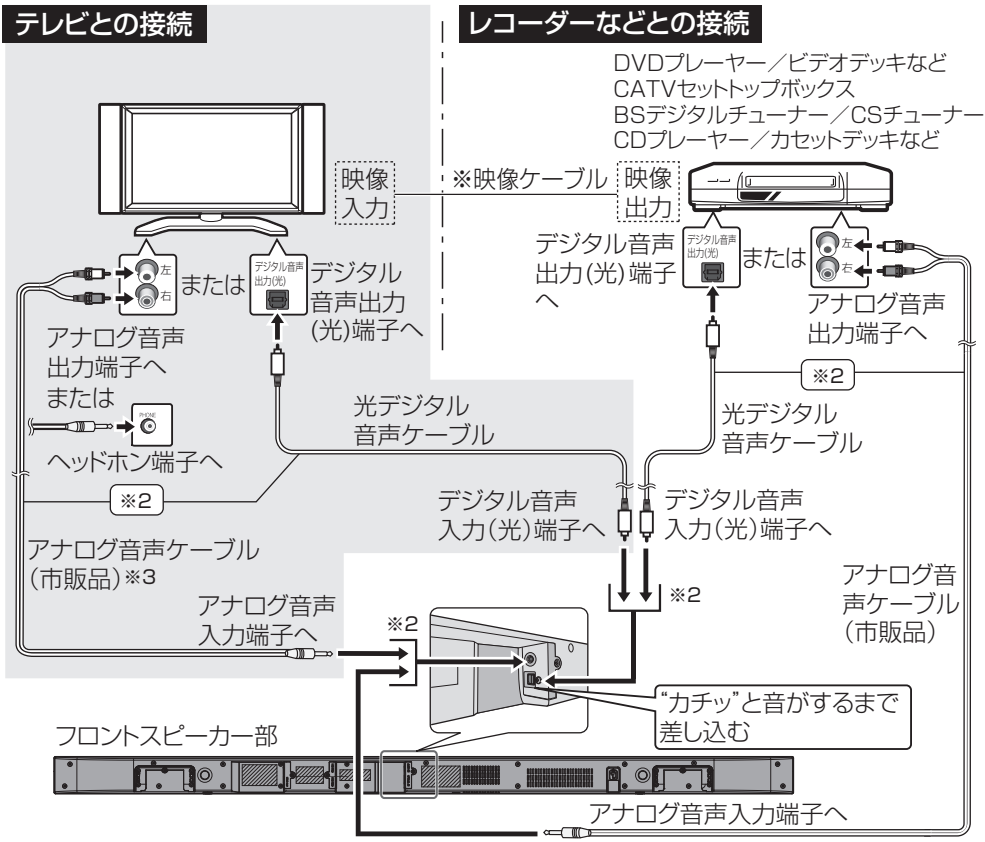
レコーダーなどとの接続



※1 ARC（オーディオリターンチャンネル）非対応テレビの音声を聞く場合は、光デジタル音声ケーブル（市販品）もつないでください。
HDMI ケーブルの接続だけでは、本機でテレビの音声を聞くことはできません。

・ARC（オーディオリターンチャンネル）対応アクオスと HDMI ケーブルで接続して音声を聞く場合は、ARC 対応の HDMI 入力端子（入力 1）と接続し、アクオスの「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「ARC 設定」を「自動」モードに設定してください。

HDMI 端子のない機器（テレビや DVD プレーヤーなど）を接続する



・映像出力機器の場合は、映像出力とテレビの映像入力を映像ケーブルで直接接続してください。映像ケーブルの接続に関しては、接続する映像機器の説明書をご覧ください。
・テレビや DVD プレーヤーなどと本機を、アナログ音声ケーブルまたは光デジタル音声ケーブルで接続してください。
・本機に接続した機器の音声を聞くには、SOURCE（入力切換）ボタンまたは入力切換ボタンを押して、聞きたい機器の入力を選んでください。（**25** ページ）

※2 ご使用の機器やお好みに合わせて、どちらかの接続をしてください。
※3 テレビのヘッドホン端子と接続する場合は、付属のアナログ音声ケーブルをご使用いただけます。

ご注意

- テレビのヘッドホン端子に接続した場合、テレビの内蔵スピーカーから音は出なくなります。当社製アクオスとこの方法で接続した場合は、**アクオスの設定で、必ず「AQUOSで聞く」に設定してください。**「AQUOS オーディオで聞く」に設定すると、アクオスからも本機からも音が出なくなります。
- モノラルのテレビと接続したときは、フロントスピーカー部の左右両方からは音声が出ない場合があります。

HDMI ケーブルについて

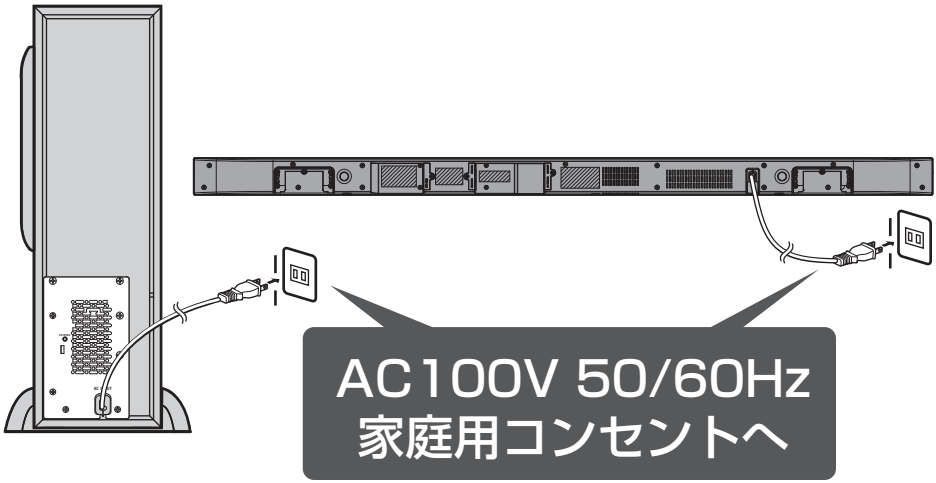
- 使用する前に、保護キャップがついている場合は取り外して接続してください。
- HDMI ケーブルが 2 本以上必要なときは市販品をお買い求めください。
- 市販品の HDMI ケーブルをお使いになるときは、より安定した動作や画質劣化などの防止のため、2m 以下の HDMI ロゴ表示のあるハイスピードタイプ対応の HDMI ケーブルをお買い求めください。
- HDMI ケーブルは奥まで差し込み、引っ張らないようにしてください。コネクターが端子から抜けると、本機が正常に動作しなくなります。また、しっかり差し込まれていないときは、画像がぼやけたり雑音が生じることがあります。

光デジタル音声ケーブルについて

- 使用する前に、保護キャップがついている場合は取り外して接続してください。
- 光デジタル音声ケーブルは、曲げすぎると破損します。直径 60mm 以下には曲げないでください。

電源を接続する

各機器の接続が終わったら、最後に電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。



- サブウーハー部の電源表示ランプが赤色に点灯します。
- 初めて電源を入れたときは、DEMO インジケーターが点灯して、フロントスピーカー部の表示部に、デモンストレーションが表示されます。

■デモンストレーションについて

- デモモードボタンを押すと、デモンストレーションが停止します。
- デモモードボタンを長押しすると、DEMO インジケーターが消灯して省電力モードになります。（ただし、省電力モードでは、HDMI コントロール機能が働きません。）

お知らせ

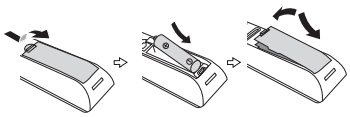
- それぞれの機器の電源プラグを差し込むときは、テレビの電源プラグを最後に差し込んでください。
- HDMI ケーブルの抜き差しや接続方法を変えた場合は、全ての機器の電源を入れた状態でテレビの電源を入れ直してください。
- 電源は家庭用コンセント（AC100V、50/60Hz）を使用してください。

ご注意

- 家庭用電源コンセントの近くに設置し、手で電源プラグが容易に抜き差しできるようにしてください。

リモコンに乾電池を入れる

1. フタのつまみを押して、矢印の方向に開ける
2. 単3乾電池を⊖側から入れる
3. フタを閉める



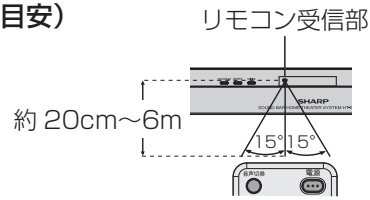
ご注意

- 乾電池の方向に注意して入れてください。⊕、⊖を間違えると、故障の原因となります。
- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電池では正しく動作しません。

■リモコン用乾電池の交換時期は？

通常のご使用で約 1 年です。
リモコン受信部に近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

■リモコンの使える範囲（目安）



電源／音量や音質の調整など

電源を入れる

1. ON/STAND-BY（電源）ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押す
   - サブウーハー部の電源／ペアリングランプが青色に点灯します。

お知らせ

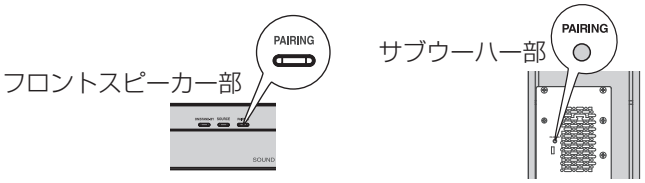
- ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）に対応した接続機器の電源が入ったときにも、自動的に本機の電源が入ります。
- テレビの電源が入ってから音が出るまで、またはファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）により本機が認識されるまで、若干の遅れが生じる場合があります。

■電源を切るには…

1. もう一度、ON/STAND-BY（電源）ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押す
   - サブウーハー部の電源／ペアリングランプが赤色に点灯します。

フロントスピーカー部とサブウーハー部をワイヤレス接続する

フロントスピーカー部とサブウーハー部は、通常自動的にワイヤレスで接続されます。接続されない場合は、以下の操作を行ってください。



1. フロントスピーカー部のPAIRING(ペアリング)ボタンを長押し(3秒以上)する
   - 表示部に「PAIRING」の文字が点滅します。
2. 2分以内に、サブウーハー部のPAIRING(ペアリング)ボタンを長押し(3秒以上)する
   - 電源／ペアリングランプが青色に点滅します。
   - 接続が完了すると、表示部から「PAIRING」の文字が消え、サブウーハー部の電源／ペアリングランプが青色に点灯します。

お知らせ

- 他の無線機器と電波干渉する場合がありますので、他の無線機器と離して設置してください。

聞きたい機器の入力を選ぶ

1. SOURCE(入力切換)ボタンまたは入力切換ボタンをくり返し押して選ぶ

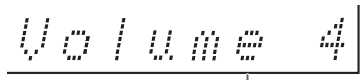
HDMI 1：HDMI IN（入力）1端子に接続した機器を選びます。
↓
HDMI 2：HDMI IN（入力）2端子に接続した機器を選びます。
↓
TV ARC：ARC対応HDMI OUT（出力）端子に接続したARC対応のテレビを選びます。
↓
OPTICAL：デジタル音声入力（光）端子に接続した機器を選びます。
↓
AUDIO IN：アナログ音声入力端子に接続した機器を選びます。

お知らせ

- ファミリンク対応のテレビをHDMIケーブルで接続している場合は、「HDMI 1」と「HDMI 2」を選択したときのみ、テレビの入力も連動して切り換わります。
- 本機の入力を「TV ARC」にしても、接続しているテレビの入力は切り換わりません。

音量を調整する

1. VOLUME(音量)－／＋ボタンまたは音量＋／－ボタンを押す



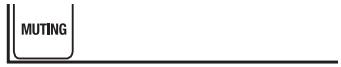
Min（最小）↔ 1 ↔ 2 ·····↔99↔Max（最大）

お知らせ

- 音量を 80 以上に設定して電源を切った場合、次回電源を入れたときは、音量は 40 となります。

一時的に音声を消すには

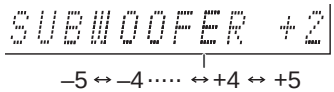
1. 消音／スピーカー出力選択ボタンを押す



- もう一度押すと、もとの音量に戻ります。
- 電源を切って入れ直すと、消音モードは解除されます。

サブウーハーの音量レベルを調整するには

1. サブウーハーレベル－／＋ボタンを押す



–5 ↔ –4 ····· ↔ +4 ↔ +5

お知らせ

- サブウーハーの音が大きすぎて歪むときは、サブウーハーの音量レベルを下げてください。

高音／低音の音量レベルを調整するには

■高音の音量レベルを調整する場合

1. 高音ボタンを押す
2. 5秒以内に、音量＋／－ボタンを押す

■低音の音量レベルを調整する場合

1. 低音ボタンを押す
2. 5秒以内に、音量＋／－ボタンを押す

プリセットサウンドモードを選んで聞くには

7 種類のサウンドモードの中からお好みの音場を手がるに選べます。

■フロントスピーカー部の場合

1. SOUND MODE(サウンドモード)ボタンをくり返し押して選ぶ

■リモコンの場合

1. 聞きたいサウンドモードボタンを押す

シネマ	映画などを聞くときに適したモードです。
ミュージック	音楽などを聞くときに適したモードです。
ゲーム	ゲームなどを楽しむときに適したモードです。
スポーツ	スポーツ中継を聞くときに適したモードです。
ニュース	ニュースなどを聞くときに適したモードです。
ナイト	深夜に小音量で聞くときに適したモードです。
ダイレクト	音質調整処理をせず、原音信号を再生するモードです。

音声を切り換えるには

音声多重放送を見ているとき、主音声と副音声を切り換えることができます。

1. 音声切換ボタンを押す

主音声（LL） → 副音声（RR）
主音声+副音声（LR）

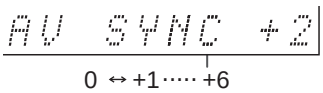
お知らせ

- テレビやレコーダーなどの音声出力を「ビットストリーム」に設定しているときは、本機のリモコンで音声を切り換えます。テレビやレコーダーのリモコンの「音声」ボタンでは切り換えることができません。
- テレビやレコーダーなどの音声出力を「PCM」に設定しているときは、テレビやレコーダーのリモコンで音声を切り換えます。本機の「音声」ボタンでは切り換えることができません。
- テレビやレコーダーなどの音声出力を「ビットストリーム」に設定しているときは、本機のリモコンで音声を切り換えますが、テレビやレコーダーのリモコンで音声を切り換えたい場合は、音声出力を「PCM」に設定してください。

映像と音声のズレを軽減したい場合は・・・

レコーダーを再生したときに、テレビで見る再生映像と本機から聞こえる音声にズレがあると感じた場合には、AV SYNC（音声・映像シンクロ）レベルを調整してください。
本機から出る音声の出力を遅らせて映像とのズレを軽減させることができます。

1. ディレイー／＋ボタンを押す



本機／テレビのどちらから音声出力するか切り換えるには

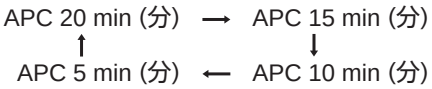
ファミリンク機能を利用して接続中のみ、本機／テレビのどちらから音声出力するか切り換えることができます。

1. 表示部に「TV SPEAKER」または「SB SPEAKER」が表示されるまで、消音／スピーカー出力選択ボタンを長押しする

自動的に電源が切れる時間を設定する

一定時間、音声信号が無い場合に自動的に本機の電源が切れます。自動的に電源が切れる時間を 5 分～ 20 分の間で 5 分間隔で設定が行えます。

1. APC（オートパワーオフコントロール）設定ボタンをくり返し押して、自動的に電源が切れる時間を選ぶ



お知らせ

- APC(オートパワーオフコントロール）機能は、本機の入力が TV ARC、OPTICAL、AUDIO IN で働く機能です。HDMI1 または HDMI2 入力を選択している状態では働きません。
  ファミリンク（HDMI コントロール）機能に対応した機器の場合は、接続している機器の電源に連動して、本機の電源も自動的に切れます。
- OPTICAL 入力の場合、接続している機器によっては、一時停止 (PAUSE) や消音 (MUTE) などの操作を行った場合、音声が無音となり APC が働き自動的に電源が切れる場合があります。

3D サウンドモードを選んで聞くには

3D サウンドモードを利用すると、音声信号のチャンネル数（モノラル、ステレオ、マルチチャンネル）に関わらず、立体的な音声を楽しむことができます。

1. 3D AUDIOボタンをくり返し押して選ぶ

3D AUDIO 1 : 3Dサウンドモードをオンにします。

↓

3D AUDIO 2 : 3Dサウンドモードをオンにしたまま、セリフなどの声を聞きやすくします。

↓

3D AUDIO OFF : 3Dサウンドモードをオフにします。

ご注意

- 主音声、副音声の切り換えができる場合、3D サウンドモードは解除されます。

各種デコーダーについて

この製品には、ドルビーデジタル方式・DTS 方式・デジタル放送の AAC 方式に対応した各種デコーダーを搭載しています。

DOLBY（ドルビー） DIGITAL（デジタル）	劇場向けデジタル音声システムの1つです。 本機では、このドルビーデジタル方式の音を楽しむことができます。
DTS（Digital（デジタル） Theater（シアター） Systems（システムズ））	劇場向けデジタル音声システムの1つです。 本機では、このDTS方式の音を楽しむことができます。
AAC（Advanced（アドバンスド） Audio（オーディオ） Coding（コーディング））	地上デジタル放送／BSデジタル放送などで採用されている音声圧縮方式の1つです。 本機では、このAAC音声を楽しむことができます。
PCM（Pulse（パルス） Code（コード） Modulation（モジュレーション））	CDやDVDなどに採用されているデジタル音声信号の総称です。 本機では、CDやDVDなどのデジタル音声を楽しむことができます。

「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、「保証とアフターサービス」については **33** ページをご覧ください。

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
音が出ない	•音量が「Min(0)」になっていませんか。 •一時的に音声を消す設定(消音モード)になっていませんか。 •接続している機器が正しく選択されていますか。(入力切換をまちがえていませんか。) •接続している機器の電源は入っていますか。 •接続している機器が、本機の入力端子に正しく接続されていますか。 •HDMIケーブルや音声ケーブル類は、接続している機器側と本機側共に端子の奥までしっかり正しく差し込まれていますか。抜けていませんか。ケーブルを正しく接続し直して、一度<リセット操作>をしてください。 •当社製アクオスとHDMIケーブルで接続した場合、アクオス側の設定を「AQUOS オーディオで聞く」に設定してください。また、ARC(オーディオリターンチャンネル)対応アクオスとHDMI ケーブルで接続して音声を聞く場合は、ARC 対応のHDMI 入力端子(入力1)と接続し、アクオスの「リンク操作」−「ファミリンク設定」−「ARC 設定」を「自動」モードに設定してください。	26 26 25 — 20〜22 32 20〜21
再生中にノイズが聞こえる	•パソコンや無線機器などは本機のそばで使用しないでください。	—
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	•一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、<リセット操作>をしてください。	23、32
電源が入らない	•電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 •本機の保護回路が働いていることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。 •一度<リセット操作>をしてください。	— 32 32

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
3D対応のレコーダーをHDMI接続したが3D映像がテレビで楽しめない	•HDMIケーブルはハイスピードタイプ対応のケーブルを使用していますか。 •3D出力対応HDMI端子と本機のHDMI端子を接続していますか。 •3D対応のテレビを使用していますか。 •レコーダーやテレビの3D設定は正しいですか。	— — — —
フロントスピーカー部とサブウーハー部がワイヤレス接続されない	•接続可能距離(約10m)以内に設置してください。 •他の無線機器と離して設置してください。 •鉄筋コンクリートや金属製の壁などが間にあると、機能しない場合があります。設置場所を変えてください。 •手動でワイヤレス接続してください。	— — — 25
リモコンが動作しない、または正しい動作をしない	•乾電池の⊕、⊖の向きが逆になっていませんか。 •乾電池が消耗していませんか。 •リモコンの送信部を本機のリモコン受信部に正しく向けていますか。 •リモコン受信部との距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 •本機の前に障害物はありませんか。 •リモコン受信部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。 •他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。	24 — 24 24 — — —
リモコンで電源が入らない	•本機の電源プラグは、コンセントに正しく接続されていますか。 •乾電池は入っていますか。	— 24

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

エラーメッセージについて

操作を誤ったときなどに、表示部に次のような表示がでます。

エラー表示	エラーの内容
ERROR 1 ～ ERROR 4	・サラウンド回路の動作不良。 →近くに雑音を発生するもの（パソコンや携帯電話など）があれば本機から離したり、それらの機器の電源プラグを別のコンセントに差し変えてみてください。（※）
OPTICAL （点滅）	・入力信号がないとき。 →接続した機器を再生してください。 ・規格外の信号で認識することができない。 →DOLBY DIGITAL、DTS、AAC、Linear PCM以外の信号は、認識することができません。 ・デジタル音声入力（光）端子の接続不良。 →電源を切って、ケーブルが正しく接続されているか確かめてください。
☼ STAND-BYインジケーター、サブウーハーのペアリングランプ （赤色の点滅）	・著しい大音量で聞いていませんか。 ・異常に暑い場所で使用していませんか。 →大音量や異常に暑い場所で長時間使用すると、保護回路が働く場合があります。一度、電源プラグをコンセントから抜いて、5分以上経ってから再び電源プラグを差し込み、動作の確認をしてください。（※）

※電源プラグの差し込み直しや電源の入れ直しをしても同じ表示がでるときは、**33**ページの「保証とアフターサービス」をご覧のうえ、修理を依頼してください。

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、次のように操作してください。

1. 一度、電源を切り、再度電源を入れ直す

2. それでも元に戻らない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、再び差し込み、電源を入れ直す

■お買い上げ時の設定状態に戻すには（リセット操作）

あらかじめ、本機に接続したすべてのケーブルを外してから、以下の操作を行ってください。

1. 電源を切りデモモードを入にした状態で、フロントスピーカー部のSOUND MODE（サウンドモード）ボタンを押しながら、ON/STAND-BY（電源）ボタンを押し続ける

2. 表示部に「RESET」が表示されたらボタンから指を離す

保証とアフターサービスよくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、このシアターバーシステムの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■ 「故障かな？」と思ったら(**30**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名:**シアターバーシステム**
- 形　　名:**HT-SB60**
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください。)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用の機器の点検を!

このような症状はありませんか?	ご使用中止
● 電源コードやプラグが異常に熱い ● コゲくさい臭いがする ● 電源コードに深いキズや変形がある ● その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。
発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/　■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。

使用方法や修理のご相談など【お客様相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

携帯・PHS OK
0120 - 001 - 251
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

受付時間 ●月曜～土曜: **9:00～18:00**
(年末年始を除く) ●日曜・祝日: **9:00～17:00**

■フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
043 - 331 - 1626	**043 - 297 - 2696**
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間 (祝日など弊社休日を除く) ●月曜～土曜:**9:00～17:40** ただし、沖縄地区は月曜～金曜：**9:00～17:40**

北海道	●札　幌 **011-641-4685** 〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17	中部	●静　岡 **054-344-5781** 〒424-0067　静岡市清水区鳥坂1170-1	近畿	●大　阪 **06-6794-5611** 〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
東北	●仙　台 **022-288-9142** 〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27		●名古屋 **052-332-2623** 〒454-0011　名古屋市中川区山王3-5-5	中国	●広　島 **082-874-8149** 〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4
関東	●宇都宮 **028-637-1179** 〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41		●金　沢 **076-249-2434** 〒921-8801　野々市市御経塚4-103	四国	●高　松 **087-823-4901** 〒760-0065　高松市朝日町6-2-8
	●東東京 **03-5855-0432** 〒114-0012　北区田端新町2-2-12	近畿	●京　都 **075-672-2378** 〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48	九州	●福　岡 **092-572-4652** 〒812-0881　福岡市博多区井相田2-12-1
	●横　浜 **045-753-4647** 〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23		●神　戸 **078-452-7009** 〒658-0025　神戸市東灘区魚崎南町4-12-6	沖縄	●那　覇 **098-861-0866** 〒900-0002　那覇市曙2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2012.09)

おもな仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

アンプ部	
実用最大出力合計値	310W（非同時駆動、JEITA ※）
実用最大出力	左右スピーカー　80W+80W ／サブウーハー　150W （非同時駆動、JEITA ※）
アンプ方式	デジタルアンプ
音声入力端子	デジタル外部入力:　HDMI入力×2（映像入力兼用） 角形光入力×1 アナログ外部入力:　ステレオミニジャック×1
音声出力端子	デジタル外部出力:　HDMI（ARC）出力×1 （映像出力兼用、1080pまで対応）
フロントスピーカー部	
形式	2 ウェイ（バスレフ型）
スピーカー	ウーハー：5.7cm × 2（8 Ω） ソフトドームツイーター：2.5cm × 1（6 Ω）
最大外形寸法	1385（幅）× 68（奥行）× 73（高さ）mm（JEITA ※）
質量	約 3.7kg
電源	100V AC、50 ／ 60Hz
消費電力	42W（待機消費電力：0.6W/ 省電力モード時：0.25 W）
サブウーハー部	
形式	バスレフ型
スピーカー	ウーハー：16cm（3Ω）×1
最大外形寸法	144（幅）×306（奥行）×430（高さ）mm（JEITA※）
質量	約 6.1kg
電源	100V AC、50 ／ 60Hz
消費電力	33W（待機消費電力：0.3W）
リモコン部	
電源	DC 1.5V（付属単 3 乾電池× 1 個）
ワイヤレス部	
周波数帯	2.4GHz 帯
伝送方式	非圧縮 PCM 伝送

※ 実用最大出力、最大外形寸法は、JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

シャープ製品オーナーの会員サイト(無料)より、製品をぜひご登録ください。

人と家電と暮らしをつなぐ、シャープの会員サイト
SHARP i CLUB　今すぐご登録！　http://iclub.sharp.co.jp/m/

携帯電話からでもご利用いただけます

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「故障かな?」と思ったら(30ページ)をご確認ください。

メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ　お問い合わせ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法や修理のご相談など
【お客様相談センター】

携帯・PHS OK
0120-001-251
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

※詳しくは、取扱説明書34ページをご覧ください

シャープ株式会社
本　　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia
TINSJA615WJZZ
12P10-MA-ND